



府六だより

府中市立府中第六小学校

7月号

令和6年6月28日

(児童数 718名)

校長 小林 邦子

土台づくりとチームワークの大切さ ～新校舎の建設現場から学ぶ～

副校長 神園 博之



先日の学校公開で来校された際、新校舎の建設風景に目が留まった方も多かったのではないのでしょうか。日に日に建物の高さが増し、急ピッチで工事は進んでいます。昨年度は、主に校舎の解体工事から整地・基礎工事まで、実に長い時間をかけた「土台作り」が行われてきました。そして現在は、何十人という作業員さんたちが、見事な「チームワーク」で勢いを増し、新校舎を作り上げています。今日までの工事の様子から、大きなことを成し遂げるためには、「しっかりした土台づくり」、そして「チームワーク」を生か

すことがいかに大切であるか、改めて考えさせられました。

さて、いよいよ来週から一学期を締めくくる7月です。学校では、学習面や生活面において、一人一人に何が「できるようになったか」「分かるようになったか」など、確かな成長を実感できる丁寧な振り返り活動を行っています。また、あわせて、各家庭に「家庭学習パワーアップカード」を配布します。このカードにはお子さんが生活における学習の時間やスクリーンに触れる時間（タブレット、パソコン、ゲーム等）の記録を付けます。付け終わった記録について、お子さん自身が家庭生活において学習面や健康面を見つめ、よりよい改善を図っていこうとする動機付けになればと思います。保護者の皆さまにはこの取組に際し、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【ご懐妊された教員の紹介】

この度、3人の先生方がご懐妊されました。いずれも12月にご出産予定で、10月中に産休に入る予定です。お休み期間の代替教員につきましては、決まり次第改めてお知らせします。

～子供のSOSを受け止める～

6月は今年度第1回目のふれあい（いじめ防止強化）月間でした。期間中は、いじめ防止に関する資料を全児童に配布し、いじめを防ぐために、子供が自分自身でできることを一人一人が考える活動を行いました。また、教員は子供のSOSを適切に受け止めることができるよう、研修を行いました。

子供が出すSOSは、子供たち同士の人間関係によるものだけでなく、時にはご家庭に起因するものもあります。学校は、「子供の大切な人権」を守る責務があります。今後も、教職員一同、お子さんのSOSを敏感に受け止められるよう日々務めていきます。尚、お子さんから受け止めたSOSの状況によっては保護者だけでなく、専門機関とも連携を図り問題の解決に当たることがあることをご了承ください。